

文化の日  
市民公開講座

11/3 (金・祝)

開演 14:00~16:00

当日13:00~会場前で整理券配布

いせシティプラザ 2F  
(外宮前)

参加費  
無料  
250名  
先着順

常若の思想

とこ

わか

元神宮禰宜

河合真如氏による講演

前回の御遷宮から  
10年経過した今、  
次世代に伝えたい  
「常若の思想」と  
神話の世界を学ぶ

主催:南勢地域緩和ケアネットワーク  
音響協力:有限会社エムズシステム



## 講師 河合 真如 (かわいしんにょ)

昭和30年、岐阜県生まれ。公害問題に直面して自然との共生思想を持つ神道に共感し、昭和48年に神宮研修所に入学。昭和50年神宮に奉職。神宮司庁広報室長、文化部長（神宮徴古館 農業館 せんぐう館館長）などを歴任。神宮禰宜として第62回式年遷宮に奉仕。平成29年3月退職。

著書に「伊勢神宮の智恵」「The Wisdom of Ise Jingu」「浄闇」「常若の思想－伊勢神宮と日本人」「絵で見る美しい日本の歴史」「倭姫」「日本神話の智恵－生と死の科学」など。



## 特別ゲスト 涼 恵 Suzue

小野八幡神社・権禰宜（ごんねぎ）。ブラジル・サンパウロ生まれ。幼い頃から神社で育った彼女は、「自然の語らいに耳を澄まし、言霊を唄う」と評され、作詞・作曲を手がけるオリジナルの楽曲は、洋楽器に箏、龍笛、神楽鈴といった雅楽器をとり入れた独特の音楽世界を創造し、「自然とヒトとの関係」「ヒトとヒトとの関係」で生じる感謝や葛藤を唄う、神職の唄ひ手として絶大な支持を受けている。

## 今回の市民公開講座の開催にあたって

前回の第62回式年遷宮から10年という年月が経過した今、伊勢の町では次回のご遷宮に向けての動きが始まろうとしています。そのような背景のなか、私達は次世代に伝えていきたい大切なことについて学ぶ機会を持ちたいと考えました。というのも、私達が従事している緩和ケアの現場では、私達が出会う患者さん達がそれぞれの人生の意味や価値を見出せるように、魂のレベルでいのちをつなぐことにも関わっているからです。そこで、元伊勢神宮禰宜で、神宮司庁広報室長のご経験がある河合真如先生にご講演をお願いし、ちょうど文化の日の11月3日に、外宮前の「いせシティプラザ」にて市民公開講座を開催する運びとなりました。

河合先生には、昨年11月に三重県総合文化センターで開催された「第46回日本死の臨床研究会年次大会」（大会テーマ：いのちをつなぐ）において、「伊勢神宮の智恵」という演題でご講演いただいたというご縁があり、今回はその続編という意味もあります。そして今回、神職で歌手の涼恵さんが特別ゲストとして来場されることになり、「常若の森」（河合真如 作詞・長岡成貢 作曲）を歌ってくださることになりました。当日はその歌声を波動スピーカー（エムズシステム）の音色と共に、皆様に聴いていただく予定です。

南勢地域緩和ケアネットワーク代表世話人  
伊勢赤十字病院緩和ケア内科 辻村 恭江



会場へのアクセス  
いせシティプラザHP



波動スピーカー  
エムズシステムHP